

教科 Subject	社会科		科目 Course	地理	学年 Grade	1	単位数 Credits	3
教科書 Textbook	新しい社会 地理(東京書籍)			副教材Additional Text /materials	中学校社会科地図(帝国書院) 社会の自主学習 地理ⅠⅡ(新学社)			
科目の目標 Course Objectives		日本や世界のさまざまな地理的事象に対する関心を高め、国際社会に生きる日本人の育成を目指す。						
評価の基準 Assessment Standards		定期試験=70%(課題論述10%)、ノート=15%、問題集=15%、忘れ物等は関心・意欲・態度の観点より減点する。						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	第1編—第1章 世界のすがた		国の大きさや形、州、海洋との位置関係など、さまざまな視点から世界の国々の特色をとらえることができる。			
		2	第2章 世界各地の人々の生活と環境					
		3	第3章 世界の諸地域					
	5	4	1節 アジア州		世界各地のさまざまな環境の特色やそこに住む人々の生活の特色と変化をとらえることができる。 世界の諸地域の地理的な条件や他地域との結びつきの様子をもとに、地域の特色および、その変化をとらえることができる。			
		5	2節 ヨーロッパ州					
		6	3節 アフリカ州					
	6	7	4節 北アメリカ州		各地域の自然環境、文化、政治、産業を理解している。 各地域の地理的特色について追究・考察することができる。 世界のさまざまな地域の調査に必要な資料を適切に選択し、読み取ることができ、地域の特色および、その変化をとらえることができる。			
		8	5節 南アメリカ州					
		9	6節 オセアニア州					
	7	10	6節 オセアニア州		日本世界遺産について理解し、それをまとめる。			
		11	第4章 世界のさまざまな地域の調査					
		12	【夏課題】日本探求学習					
2 学期	9	13	第2編—第1章 日本のすがた		日本の位置、領域、都道府県の特色をとらえることができる。 世界と比べた日本の特色をさまざまな視点からとらえることができる。 日本の気候や地形、人口構造を理解している。 日本の資源やエネルギー、産業を理解している。 グローバル化を理解している。 ※グループディスカッション・ポスターセッション等のアクティブラーニングの要素を導入していく。→ ipadのプレゼンテーションへの流れ			
		14	第2章 世界から見た日本のすがた					
		15	1節 世界から見た日本の自然環境					
		16	2節 世界から見た日本の人口					
	10	17	3節 世界から見た日本の資源・エネルギーと産業		日本の諸地域の地理的な条件や人々のくらしの特色をとらえることができる。 各地域が抱えている課題とその対策や工夫を追究・考察することができる。 各地域の自然環境や生活様式、産業を理解している。 各地域が抱えている課題とその対策や工夫をを追究・考察することができる。 身近な地域の調査に必要な資料を適切に選択し、読み取ることができ、地域の特色およびその変化を捉えることができる。 ※ipadを使用した調べ学習を実施→調査する地域をipadアプリでまとめ、プレゼンテーションを行う。(動画を撮影して提出)			
		18	4節 世界と日本の結びつき					
		19	3節 日本の諸地域					
		20	1節 九州地方					
	11	21	2節 中国・四国地方		各地域が抱えている課題とその対策や工夫をを追究・考察することができる。 身近な地域の調査に必要な資料を適切に選択し、読み取ることができ、地域の特色およびその変化を捉えることができる。 ※ipadを使用した調べ学習を実施→調査する地域をipadアプリでまとめ、プレゼンテーションを行う。(動画を撮影して提出)			
		22	3節 近畿地方					
		23	4節 中部地方					
		24	5節 関東地方					
12	25	6節 東北地方		身近な地域の調査に必要な資料を適切に選択し、読み取ることができ、地域の特色およびその変化を捉えることができる。 ※ipadを使用した調べ学習を実施→調査する地域をipadアプリでまとめ、プレゼンテーションを行う。(動画を撮影して提出)				
	26	7節 北海道地方						
	27	第4章 身近な地域の調査						
	28	3節 近畿地方						
3 学期	1	29	4節 中部地方		身近な地域の調査に必要な資料を適切に選択し、読み取ることができ、地域の特色およびその変化を捉えることができる。 ※ipadを使用した調べ学習を実施→調査する地域をipadアプリでまとめ、プレゼンテーションを行う。(動画を撮影して提出)			
		30	5節 関東地方					
		31	6節 東北地方					
	2	32	7節 北海道地方					
		33	第4章 身近な地域の調査					
		34	3節 近畿地方					
3	3	35	4節 中部地方		身近な地域の調査に必要な資料を適切に選択し、読み取ることができ、地域の特色およびその変化を捉えることができる。 ※ipadを使用した調べ学習を実施→調査する地域をipadアプリでまとめ、プレゼンテーションを行う。(動画を撮影して提出)			
		35	5節 関東地方					

履修者へのメッセージ Message for Students

地理は、人間の社会活動と地域の多様性を理解し、資料を活用できるようになる科目です。地名の暗記ではなく、地形図を見て風景を想像し、何を作るのに向いているか予想しましょう。グラフは、多くのデータとの比較が大切です。作物生産の地域ランキングを覚えるのではなく、どういう場所で作れ易いかを考えましょう。工業も盛んな地域と特色の暗記ではなく、原料と製品を輸送するのに便利なのはどこかを考えましょう。空港や港の位置、道路や路線の通り方、輸送速度と時差、為替の影響をよく考え、その結果、人間の活動が生き生きと見えるはずです。

教科 Subject	社会科		科目 Course	歴史	学年 Grade	2	単位数 Credits	3
教科書 Textbook	新しい社会 歴史(東京書籍)			副教材Additional Text /materials	社会の自主学習 歴史ⅠⅡ(新学社) 愛知県版 資料カラー歴史(浜島書店)			
科目の目標 Course Objectives		理由と結果を体系的に学ぶことで、論理的視野で世界観をとらえ判断できる力を育てる。また国際的に活躍した人物を学び世界的視野を持つことができる人間性の育成を目指す。						
評価の基準 Assessment Standards		定期試験=70%(課題論述20%)、ノート=15%、問題集=15%、忘れ物等は関心・意欲・態度の観点より減点する。						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~		
1 学期	4	1	第1章 歴史のとらえ方			自己の社会性と社会の歴史性を考えられる。		
		2	第2章 古代までの日本			世界の古代文明と宗教の発生や特色と、古代日本の国家が形成されていくようすを東アジアの動きと関連づけてとらえることができる。		
		3	1節 文明のおこりと日本の成り立ち					
	5	4	2節 古代国家の歩みと東アジア世界			天皇・貴族の政治が行われ、権力の移り変わりを理解している。		
		5						
	6	7	第3章 中世の日本			中世の日本では武士が政治の中心になっていったことをとらえることができる。		
		8	1節 武士の台頭と鎌倉幕府			院政や封建制度について理解している。		
9		2節 東アジア世界とのかかわりと社会の変動			モンゴルの襲来の影響を考察することができる。			
10								
7	11							
		12	【夏課題】日本探求学習			歴史上の偉人について理解し、それをまとめる。		
2 学期	9	13	第4章 近世の日本			戦乱の時代から日本が統一されていくようすをヨーロッパ人との出会いと関連づけてとらえることができる。		
		14	1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一					
		15	2節 江戸幕府の成立と鎖国			西洋人が日本に来た背景やその影響を考察することができる。		
		16	3節 産業の発達と幕府政治の動き			豊臣秀吉の政策によって社会がどのように変化したか考察することができる。		
	10	17				江戸時代の社会の特色を考察することができる。		
		18				江戸幕府が鎖国を行った理由を考察することができる。		
		19						
		20						
	11	21	第5章 開国と近代日本の歩み			立憲国家が形成されていくようすをヨーロッパの海外進出や産業革命と関連づけてとらえることができる。		
		22	1節 欧米の進出と日本の開国			資本主義の成長につれて、欧米諸国がアジアを植民地にした理由を考察することができる。		
		23	2節 明治維新					
		24	3節 日清・日露戦争と近代産業					
12	25				日本の開国が政治や社会にどのような影響を与えたか考察することができる。			
26								
3 学期	1	27	第6章 二度の世界大戦と日本			2度の世界大戦が発生した原因や経過と、日本の動きや世界大戦との関係性をとらえることができる。		
		28	1節 第一次世界大戦と日本					
		29	2節 世界恐慌と日本の中国侵略			世界恐慌の原因やその影響について考察することができる。		
	2	30	3節 第二次世界大戦と日本			太平洋戦争の原因や影響を当時の世界状況から考察することができる。		
		31						
		32				戦後日本が民主化されていく経過と現代社会の残された課題をとらえることができる。		
	33							
	3	34						
			35					

履修者へのメッセージ Message for Students

歴史は人類と人類が作ってきたものの意味を理解する科目です。歴史は物理の法則のような明快な決まりに従って動かず、先人たちが迷ったり悩んだりしながら精一杯に作り上げてきたものです。なぜ歴史を学ぶか、なぜ歴史を問うのか。それは、君たちが生きている社会は、先人の生き様を理解しなければ、決して理解できないものだからです。君たちが毎日をもがいているように、先人も苦しんでこの社会を作ってきました。一つ一つの事項をおろそかにせず、先を急がないで歴史上の人物とじっくり向き合ってください。君たちが、これからの歴史を作るのだから。

教科 Subject	社会科		科目 Course	公民	学年 Grade	3	単位数 Credits	4
教科書 Textbook	新しい社会 公民(東京書籍)			副教材Additional Text /materials	社会の自主学习 公民(新学社)			
科目の目標 Course Objectives		自由と権利と責任・義務の関係を広い視野から学び、社会生活・経済活動を視野にいれ国際社会に生きる人間として多面的・多角的な能力と態度を育てる。						
評価の基準 Assessment Standards		定期試験=70%(課題論述30%)、ノート=15%、問題集=15%、忘れ物等は関心・意欲・態度の観点より減点する。						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	現代社会とわたしたちの生活		現代社会の問題を諸認識し、具体的に説明できる。			
		2	わたしたちの生活と文化		文化がいかに生活に密着して発展してきたか、また生活の中で発展していくかを、具体的に説明できる。			
		3			もし規則がなかったらどうなるかを考えることで、いかに集団生活に不可欠なものかを理解できる。			
	5	4	現代社会の見方や考え方		日本国憲法が定める理念としくみが、基本的人権の実現にどう役立っているかを説明できる。			
		5	人権と日本国憲法		自分が持っている基本的人権を認識し、基本的人権の内容と性質を説明できる。			
	6	6			人権と共生社会		新しい基本的人権ができた社会的背景を知る。	
		7	これからの人権保障				国際問題について理解し、それをまとめる。	
7	11	【夏課題】国際理解学習						
2 学期	9	13	現代の民主政治		全体に関することがらを決定する際に個人的意見を尊重しつつ総意に基づくべきであるという点から、選挙制度を考える。			
		14	国の政治のしくみ		国会、内閣、および裁判所のしくみを理解し、国の課題とその発展的な解決法を模索することができる。			
		15			地方自治の原則としくみを理解するとともに、地方の抱える課題とその発展的な解決法を模索することができる。			
		16	地方の政治と自治		資本主義において効用を追求する消費者主権の意味を知り、商品の流通と家計の支出との結びつきを説明できる。			
	10	17	くらしと経済		ひとびとの選好にあわせ利潤を追求する企業の意義としくみ、労働力と賃金の問題、企業の社会的責任を説明できる。			
		18	生産と労働		市場の需給調整原理や、独占を防止する工夫、中央銀行の通貨調整政策を説明できる。			
		19			価格の働きと金融		外部不経済にたいする租税などの政策や社会保障を知り、社会問題の解決法を考えることができる。	
		20	国民生活と福祉					
	11	21	国際社会と平和		国際法などの国際秩序と、その中にある国家の諸原則を理解し、冷戦から地域主義や民族紛争の発生の流れを説明できる。			
		22			国際問題とわたしたち		文化の多様性を理解するとともに、さまざまな立場から国際社会の問題を理解することができる。	
		23	よりよい社会を目指して		持続可能な社会を実現させるために、広い国際的な視野にたち、一地球人としての課題と問題解決を考えることができる。			
		24			総復習			
12	25	日本探求学習		伝統文化について理解し、それをまとめ、発表できる。				
	26							
	26							

履修者へのメッセージ Message for Students

「公民」は、生徒諸君が今生きている現代社会のしくみや課題を理解する教科です。新聞やテレビ、インターネットを通じてさまざまな情報を得ることができる中、それを正確に理解するためにはある程度の知識と考える力が必要になります。そのために「公民」ではその知識と考える力を養い、現実社会に起こっている出来事を正確に理解し、そこから課題を見つけ、その解決法を探ることを目標にします。3年生を終える時、新聞やニュースの内容を理解でき、世の中にある面白い出来事を発見できるようになることを期待しています。